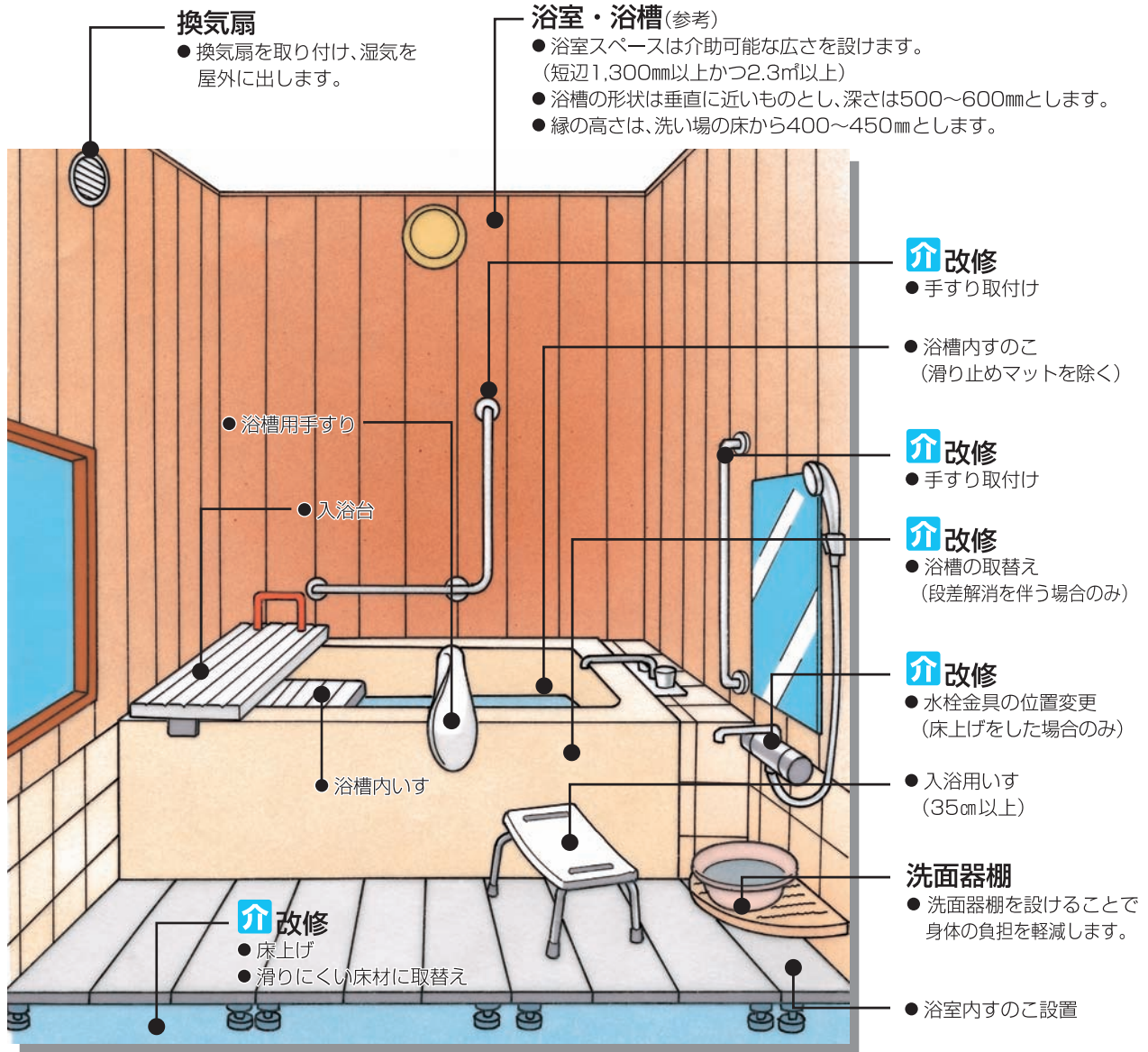


浴室・洗面所

Bathroom & Lavatory

改造ポイント

浴室・洗面所は、身体と精神をリフレッシュするための重要なスペースですが、転倒や溺れるなどの重大な事故が多い部分でもあります。安全に入浴するためには、段差の解消・滑り止め・介護器具の選定、補助手摺等の工夫が必要です。



出入口 (参考)

- 握り手、引き手は操作しやすいものを、使いやすい高さにします。
- 鍵は緊急の場合、外から開けるものとし、ガラスはポリカーボネイト板等の破損しにくい材料にします。
- 開口幅は650mm以上にします。
- 出入口の段差は20mm以下とします。

補助手摺(参考)

- 身体状況にあわせて、手摺を設けます。
- 手摺は体重がかかるため、取り付けを十分に行います。
- ユニットバスで壁に付けられない場合、浴槽に簡易手摺を設けます。



床材の変更 (住宅改修)

- 床材をコルクに変更すると滑りにくく冷たさを感じない仕上げになります。



設備機器 (対象外)

- 体温の低下防止に暖房設備があれば便利です。
- 非常ブザー等の通報装置があれば、便利です。

介護保険対象項目参考資料:「介護保険における住宅改修/実務解説」(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター

玄関

階段・廊下

トイレ

浴室・洗面所

寝室・居間

屋外

手すり

入浴介護用品

組立パイプ

すのこ

暖房機

椅子・踏台